

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 6月号 (NO38)

2013年6月10日(月)発行(毎月10日)

【農暦】緑の絨毯の中に“麦秋”が？

○今日(5日)は芒種だと笠間から柏に戻る車のラジオで聞いた。芒種とは、とげの様な穂を付ける稲や麦の様な植物の種を蒔く時期であると云っていた。芒は“のぎ”と読み、稲の穂先にある針の様な突起の事を云うそうである。最近ラジオやテレビで二十四節気の事を紹介する事が良くある。麦と稲の二毛作の時は麦の収穫の後に田植えになったので芒種の時期が稲の種まきの時期が一致していた。今は2カ月程早くなってハウスで育苗している。田植えから一カ月程経っているので水田が緑は一段と深くなってきている。緑の絨毯の素晴らしい景色が拡がり始めている。

○間宮林蔵*1の生地の伊奈村(現在のつくばみらい市)付近では、緑の絨毯の景色に黄金色(褐色に近い)の縞模様が時々目に入る。黄金色の正体は収穫直前の小麦である。夏の季語の“麦秋*2”が死語化しているが、麦の作付けも少しずつ増えて来ているようで、麦秋の季語を使った句が詠まれるかもしれない。緑が深まる中であって異色な景色にチョットした驚きである。

○子供の頃に見た緑と黄色の縞模様の素晴らしい景色が思い出されたからでもある。麦と稲の二毛作が盛んに行われていた頃で、緑と黄色の縞模様の景色は

本当に素晴らしかった。時期も2カ月程早い。麦と菜の花(菜種油採る*3)によるもので、縞模様と云っても全く別ものである。田植えは麦の収穫の後であったから、麦秋の時期は黄色一色であり秋一色であった。麦秋も違い過ぎる。季語の復活は難しそうである。

○梅雨宣言があったが日照りが続いている。草払機を使うと土煙が上り中断しなければならない程である。これほど乾燥しているのに草の繁茂力は着実に強くなっている。草取りを優先？して、植えるかどうか迷っていたこともあったが、極甘ミニとマイクロトマトの定植の残りがあつた。遅すぎると思いながら栽培の時期ずらしもいいなと口実を付け、今週中の作業にする事になっている。スナックエンドウの収穫もある。ほんの少しでしか



＜ネモフィラの花＞国営ひたち海浜公園のみはらしの丘で見頃は過ぎていた。楽しんでしまおうが、作られ過ぎた花園は気になる。26日撮影

いのだが、遅れ農作業のパターンに入ってきているようで心配である。心配などせず、汗を掻いてビールを楽しもう。いやプリン体 OFF の発泡酒でした。農作業を楽しみたい。

- * 1 間宮林蔵；江戸後期の隠密・探検家、樺太に間宮海峡の名がある。
- * 2 麦秋；小津安二郎監督の映画「麦秋」がある。旧暦の小満末候に“麦秋至る”がある。
- * 3 菜の花（菜種油）；遺伝子組み換え種が除去の取り組み（千葉）ある。またトラクターの燃料に使用（埼玉）が再生可能燃料の話題になる。

【楽農】日照りでか発育が遅い

- <ハウス>；調理用、ミニ、マイクロトマトを定植、発育中。ジャンボシシトウも定植。
- <畑 A>；トマトの定植、茄子、ピーマン、ゴーヤ、キュウリなど少量定植。インゲン豆、落花生、大豆、ヤーコンは発育中。ハウレン草播種するも発芽僅か（日照りで？）。キヌサヤ、スナックエンドウの収穫、少量だが直売所に出荷。
- <畑 B>；トラクター耕起で除草、機械でマルチ張り体験（定植は今週か）。
 - *日照りでか発育が遅い様に見える。もっぱら除草作業。

【楽市】イベント交流・直売など

- グリーンジム本戸倶楽部（ピッコロファーム主催、11-12 日）
 - ・農作業は雨のため無し。懇親会は大阪へ引越しされる K さんの新生活の話題に終始、お別れを惜しむ会になった。
- フリーマーケットに出店（笠間ゴミの会主催 8 日）
 - ・キヌサヤ、スナックエンドウとヤーコン、トマトなどの苗に、ゴミにするには忍びない“ぬいぐるみ”で出店する。売れ行きは今一つ。物の飽和を実感した。
- 詩吟の県西地区大会に参加（9 日）
 - ・意気込み過ぎて失敗した。残念！会から 2 人が上位得点入りする。
- その他；
 - ・男女共同参画（13 日）、男の料理教室(24 日)、OB 会（1 日）、山野草の会（8 日）などに参加した。ひたち海浜公園へネモフィラを見に行く（26 日）などした。

【つぶやき=Tweet】人間の心には悪魔が棲み易くなっている！

○人の不幸は蜜の味とか云われているが、人の悪口を言って評価や評判を落とすとして、不幸や仲たがいを引き起す人は、悪口は蜜の味がするのかも知れない。事の大小や問題の大きさは兎も角として、よく見かける。学校のいじめは最たるもので、職場でも、地域でも、いろいろな会でも、あると聞くと、人間の業の様なものを感じる。ここに悪意や悪魔が関わると大変なことになる。この様な人を仲間を持たないで済んだことを幸運に思うし、感謝したい気持ちになる。こんなことを書き出したのは 9 日の夜に放送された NHK の未解決

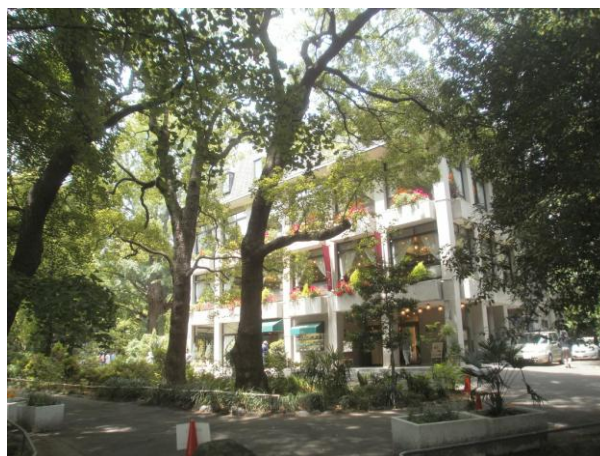
事件 file03「尼崎連続殺人死体遺棄事件」を見たからである。次々と家族を崩壊させ何人も死に追いやった。拘置所で自殺した主犯の角田美代子が引き起した事件のことである。角田には贖罪意識がない？悪口にも悪い事しているとの意識が薄い。

○事件の関係者を取材して回る作家の高村薫が“主犯の角田美代子（番組では烏丸せつこが演じる）と同時代を生きている事の意味は重い（と云うような事を）”言った事を聞いて怖くなり心が重くなった。大きなショックを受けた。当事者にならなければいいでは済まされない。不仲や不和の人間関係は何処にもある。それにつけこみ人間関係を崩壊させる。悪魔の所業を人間がやる。そんな人間が生まれ存在出来た同時代にいる事が怖い。再現映像を見ると”自己中心主義“が増殖している状況が悪魔の存在を許しているように見えた。高村薫が悪魔になった人間、悪魔に心を売った人間を分析した？本を書いてくれるかも知れない。人間が一番怖いと云うが、金儲けや利得好きとは違う文化を育み悪意や悪魔が棲みづらい社会にしたいものである。他人の幸を喜び、不幸を悲しめる人間関係に満ちた普通の社会であって欲しい。蜜に群がる人には芥川龍之介の「蜘蛛の糸」の話を知って欲しい。利得が過ぎると地獄に落ちる。こんな事が頭の中でぐるぐる回り始めてしまい、いつの間にか書きだしていた。人間の心には悪魔が棲み易くなっている。利得主義の社会では免疫力は下がる事を肝に銘じたい。

○最近 OB 会が多い、何故多くなって来ているのか私事で言えば生涯現役の年金併用のセミ農家の青写真が怪しくなっている。尻つぼみして行く様に見える。いつまで出来るか時間軸も見えて来ている。今までと今を振りかえった時に、何となくであるが、人生の不在感のようなものを感じる時がある。多くの同世代の人は質や大小があるにせよ同じ様な思いにあるのではないかと推察される。多くなった理由の一つはこの辺にあるのではないかと思った。そんな事を考えていると、QOL（クオリティ・オブ・ライフ）のことが気になる。人生の質（品質）の事を考えていたのに、悪魔の話にしてしまった。悪魔の話も人生の質に関わるものであり、世代を超えた課題でもあり、難しいが大事な課題であると再認識させられた。何かはしたい。次回は楽しいものにとと思う。

【後記】 夏野菜が発育を早める時季です。良い汗を掻きましょう。笠間に、kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】



<日比谷松本楼>懐かしい会場で 8 年振りの OB 会の懇親会を行った。1 日撮影

発行者 ; K o g u r e 農場・小暮虎雄

住所 ; 笠間市本戸 4 2 0 1 - 1 0

携帯電話 ; 0 9 0 - 9 3 3 3 - 4 1 3 5

メール ; torao-k@nifty.ne.jp

HP ; <http://homepage3.nifty.com/toragigi/>